

E013 日守大露頭の岩脈群(静岡県GEO DATA(4) : 地学散歩(83))

著者	増島 淳
雑誌名	静岡地学
巻	103
ページ	ii-ii
発行年	2011-06-23
出版者	静岡県地学会
URL	http://doi.org/10.14945/00024722

E013 日守大露頭の岩脈群



国土地理院 1 : 25,000 三島

三島駅前の道路をひたすら南下し、狩野川を渡り、さらに500m先の小道を右折すると目的地に着く。

沼津統・静浦層群・大井凝灰角礫岩層に貫入した内浦火山角礫岩層を採石した跡地である。これらは白浜層群に属する。

露頭は数年前に比べやや風化した。凝灰角礫岩層に貫入した安山岩質の岩脈を多数観察できる。

現在、一ヶ所で10本前後の岩脈を観察できる場所は伊豆半島でも稀である。

採石場跡地は畑だが、宅地に転用されるとコンクリートが吹き付けられるだろう。

露頭の北半は沼津市・大平、南半は函南町・日守だが、自動車の進入路が日守に属するので、日守大露頭とした。(増島 淳)